



## 1. マーケット・レート

			4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1280	3.1470	3.1740	3.1850	3.1770	-0.0080
	BRL/JPY	Spot	35.09	35.30	34.98	34.94	35.10	+0.16
	EUR/USD	Spot	1.0868	1.0932	1.0905	1.0873	1.0895	+0.0022
	USD/JPY	Spot	109.76	111.09	111.07	111.26	111.49	+0.23
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.82	9.84	9.83	9.81	9.78	-0.0382
	Future	1Year(p.a.)	9.33	9.35	9.31	9.33	9.32	-0.0069
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.990	1.944	1.928	1.740	1.737	-0.003
	USD	1Year(p.a.)	2.137	2.085	2.068	1.981	2.003	+0.022
株式	Bovespa指數		64,389.02	65,148.35	64,861.92	64,676.55	65,403.25	+726.70
CDS	CDS Brazil 5y		217.62	217.82	222.08	220.06	217.70	-2.36
商品	CRB指數		180.932	181.909	181.708	181.414	181.73	+0.311

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは1月中旬以来となる3.21台へ下落。
- 週初のレアルは3.1500で寄り付いた。先週末に行われた仏大統領選の投票結果を好感したリスクオンの動きから週初は新興国通貨が買われ、レアルは高値3.1180まで上昇した。その後、PSB(ブラジル社会党)が政府の年金改革案に反対するとの声明を発表したことでレアルは3.15台へ反落。週央にはトランプ大統領による米税制改正案への期待感によるドル買いからレアルは3.20台へ下落した。26日に下院で承認された労働法改正案は賛成票が296票に達したが年金改革を巡る不透明感払拭には至らず、レアルは安値3.2140まで続落。週末金曜日には年金改革等への反対勢力により全国規模のストが行われたものの影響は限定的で、引けにかけて買い戻され3.1770で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.40%から0.43%へ上方修正、2018年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が4.06%から4.04%へ、2018年は4.39%から4.32%へ下方修正された。為替レートは2017年末が3.23で据え置き、2018年末は3.40から3.38へレアル高方向に修正された。
- 24日、連立与党で5番目の規模を持つPSB(ブラジル社会党)が政府の年金改革案を受け入れられないとする声明を発表。36人の下院議員が所属する同党が与党を離脱するとの見方も出る中、年金改革法案の承認に対する懸念が強まった。
- 26日、下院は政府による労働法改正案を賛成296票、反対177票で承認。同法案は年金改革法案の行方を予測する上で注目された。今回の賛成票は年金法案承認に必要とされる308票には達しなかった。
- 伯中銀は今週もドル売りポジションのロールオーバーを1日あたり8億ドル相当のペースで継続。4月末期日のポジションは全てロールオーバーされ、期日到来に伴うドルの買戻しは発生しなかった。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



## 仏大統領選 第1回投票結果を受けリスクオンの動き

先週末23日に実施された仏大統領選の第1回投票では、中道候補のマクロン氏と極右政党のルペン党首が5月7日に行われる決選投票に進出した。決選投票では親EUのマクロン氏が有利と見られており、結果を好感した週初の市場ではユーロの買い戻しが進む一方でリスクオンの動きが進行した。各国の株式市場が堅調に推移する中、トランプ大統領による米税制改革への期待が高まった局面ではダウ平均が21000ドル台に上昇し、3月初めに付けた史上最高値に接近。ボベスパ指数は年金改革への懸念が強まる中でも週間ベースで上昇した。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.15–3.25

来週のレアルは引き続き年金改革法案を巡る警戒感から上値の重い展開が続くものと予想する。米国サイドでは3日にFOMCの結果発表、5日に雇用統計を控えている。今回のFOMCでの追加利上げは無いと見られるが、仏大統領選を巡る懸念が後退する中で6月の利上げ観測が高まっている状況。米利上げ動向への手掛かりとして雇用統計に注目したい。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	全国失業率	13.7%	13.7%	13.2%
ブラジル	基礎的財政収支	-11.5b	-11.0b	-23.5b
ブラジル	Nominal Budget Balance	-48.4b	-54.3b	-54.2b
ブラジル	純債務対GDP比	47.8%	47.8%	47.4%
米	GDP(年率/前期比)	1.0%	0.7%	2.1%
米	個人消費	0.9%	0.3%	3.5%
米	カゴ 購買部協会景気指数	56.2	58.3	57.7
米	ミシガン大学消費者マインド	98	97	98

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
米	5/1	ISM製造業景況指数	Apr	56.5	57.2
ブラジル	5/2	マーキット・ブラジルPMI製造業	Apr	--	49.6
ブラジル	5/2	CNI設備稼働率(季調済)	Mar	77.2%	77.3%
ブラジル	5/2	貿易収支(月次)	Apr	\$7160m	\$7145m
ブラジル	5/2	自動車販売台数(伯自販連)	Apr	--	189143
ブラジル	5/3	鉱工業生産(前月比)	Mar	-0.8%	0.1%
ブラジル	5/3	商品価格指数(前年比)	Apr	--	-8.0%
米	5/3	ADP雇用統計	Apr	180k	263k
米	5/3	FOMC政策金利(上限)	May 3	1.00%	1.00%
ブラジル	5/4	FIPE消費者物価指数(月次)	Apr	0.60%	0.14%
ブラジル	5/4	マーキット・ブラジルPMIサービス業	Apr	--	47.7
ブラジル	5/5	自動車生産台数(伯自工会)	Apr	--	234746
ブラジル	5/5	自動車販売台数(伯自工会)	Apr	--	189149
米	5/5	非農業部門雇用者数変化	Apr	190k	98k
米	5/5	失業率	Apr	4.6%	4.5%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引、その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。